



▲2026年1・2月



▲2026年3・4月



▲2026年5・6月



▲2026年7・8月

2026 Calendar

TOTSUKA EMBROIDERY CALENDAR

2026年戸塚刺しゅうカレンダー My Flower Village 花の香りにつつまれる我が家へ

一輪一輪の花を丹精込めて丁寧に育てるということは、
一針一針と刺し進める刺しゅうと通じるものがあります。
土づくりから種蒔き水やりと、手間ひまかけて慈しんだ花が
開いた時の喜びはこれまでの苦労を忘れさせていきます。
刺しゅうも同じように、思い描く世界を形づくるため
糸選びやステッチを吟味して、一針一針のなかに
時と思いを織り込んだ糸で布に息を吹き込みます。
今回は賑やかな花々で彩られた家々を中心に表現してみました。
それぞれの作品の工夫をぜひお楽しみください。

戸塚 薫



▲2026年9・10月

〈企画・監修〉戸塚 薫
〈作品制作指導〉田付 祥恵
瀬戸 恵美子
〈作品制作〉池田 泰子
小原 直子
九万田 真理子
安田 咲子
(五十音順)



▲2026年11・12月

Calendar & Premium Print Cloth

お手元に届いた瞬間から制作が始められます。



2026年
1・2月カレンダー作品 転写布
No.08105693
税込¥4,180(本体価格¥3,800)
刺しゅう布カラー／淡グレー(786)
刺しゅう布サイズ／約40×46cm
刺しゅうサイズ／約22.5×36cm
刺しゅう布／麻100%(ペルファスト)

2026年
7・8月カレンダー作品 転写布
No.08105696
税込¥4,180(本体価格¥3,800)
刺しゅう布カラー／淡紫(2055)
刺しゅう布サイズ／約40×46cm
刺しゅうサイズ／約25×36cm
刺しゅう布／麻100%(ペルファスト)

〔カレンダー使用布〕ペルファスト(140cm幅) No.09000250 **税込¥11,275**(本体価格¥10,250)(布は1Mの価格になります。)
※布はすべて10cm以上、5cm単位で お買い求め頂けます。※濃い色をご使用になる場合は色落ちにご注意下さい。

2026年
3・4月カレンダー作品 転写布
No.08105694
税込¥4,180(本体価格¥3,800)
刺しゅう布カラー／水色(7106)
刺しゅう布サイズ／約40×46cm
刺しゅうサイズ／約23×36cm
刺しゅう布／麻100%(ペルファスト)

2026年
9・10月カレンダー作品 転写布
No.08105697
税込¥4,180(本体価格¥3,800)
刺しゅう布カラー／薄アイボリー(222)
刺しゅう布サイズ／約40×46cm
刺しゅうサイズ／約25×36cm
刺しゅう布／麻100%(ペルファスト)

2026年
5・6月カレンダー作品 転写布
No.08105695
税込¥4,180(本体価格¥3,800)
刺しゅう布カラー／白(1100)
刺しゅう布サイズ／約40×46cm
刺しゅうサイズ／約24.5×36cm
刺しゅう布／麻100%(ペルファスト)

2026年
11・12月カレンダー作品 転写布
No.08105698
税込¥4,180(本体価格¥3,800)
刺しゅう布カラー／ネイビー(578)
刺しゅう布サイズ／約40×46cm
刺しゅうサイズ／約25×36cm
刺しゅう布／麻100%(ペルファスト)

庭に咲く可憐な季節の花々を精緻な手刺しゅうで表現。一年を通して美しい花々の刺しゅうを楽しめます。
※2026年の手帳、花のカレンダーは表紙のみ新たに制作し、中画は2011年、2013年、2014年、2022年の花の手帳より人気の絵柄をセレクトしています。



2026年 花の手帳
No.05100002
税込¥1,243(本体価格¥1,130)
サイズ／17×9cm 発行日／2025年9月25日
発行／啓佑社
※手帳をご購入された方は図案をダウンロード頂けます。
2026年 花の手帳 &
サブノート(方眼ノート)セット
No.05100003
税込¥1,353(本体価格¥1,230)
サイズ／17×9cm
発行日／2025年9月25日
発行／啓佑社



2026年花のカレンダー
刺しゅうで描く 花のガーデン
No.05100004
税込¥1,540(本体価格¥1,400)
サイズ/A3変形判見開き(42×23cm) 見開き2ヶ月
発行日／2024年9月25日
発行／啓佑社
※カレンダーをご購入された方は
花の手帳の図案をダウンロード頂けます。
※花の手帳と同じ絵柄のカレンダーになります。



2026年カレンダーの制作風景です。
タイトなスケジュールの中、6人の先生方によってお作りいただきました。お一人が「さあ、ここ刺し方どうしよう?」と投げかけると、即座にいるいるなアイデアが飛び交い、次の瞬間もう手が動き始めています。この素晴らしいチームワークに心より感謝申し上げます。